

# 向き合っていく。

新聞やテレビ等からの情報を得るにつれ、経済がいかに身近で重要な問題かを実感したのでこの学部を志望しました。  
3回生のゼミでは高橋是清の財政政策について研究しましたが、単に学ぶだけではなく現代との比較をすることで、  
バランスよく物事を見る目を養うことができました。  
大学生活で学んだことを生かし、魅力ある人間になりたいと思います。

経済学部 経済学科 4回生  
Yamamoto Kazunoshin  
山本 一之進

# 経済学部



段階を踏まえた少人数教育で、

確かな経済分析と専門性を身につける。

## 経済学を学び、世界に雄飛しよう

ヨーロッパでは通貨統合が実施され、さらには政治統合に向けて動きつつあります。同時多発テロのダメージから立ち直ったアメリカの景気は大丈夫なのか。世界経済の中心の一つでありながら、金融破綻、企業のリストラ、反社会的行為による企業の解散などに揺れる日本経済には何が起きているのか。以上のような問題はすべて経済学の対象です。

現代の経済はとても複雑な機能と仕組みを持っています。また経済状況も質的に大きく変化し、その変化も急速になつていきます。

このような複雑な経済の機能と仕組みを解明すること、また大阪という地域に密着した研究をすすめるのと同時に、経済学研究の中心として広く世界の経済学に貢献していくことを目指しています。

## 少人数教育とゼミナール

経済学部では、経済学のイロハを学ぶ入門科目から特に興味・関心のある分野を中心に学ぶ専門講義科目まで、段階的に幅広く経済学を学ぶことができます。また、経済学部では伝統的に徹底した少人数教育を重視し、入学時から卒業にいた

るまで全員が受講可能なゼミナールが提供され、報告、議論、論文の作成など指導教員からの親切かつ適切な指導を受けることができます。日本の内外を問わず、さまざまな領域で活躍する優秀な人材を多く育成していきたいと考えています。



## こんな学生を求めています！

狭い意味の勉強だけでなく、高校あるいは大学のサークル活動において中心的な役割を果たすことができるなど、学生生活全般に関する意欲のある人の入学を期待します。また、受身的な学習に終始するのではなく、積極的に自分を表現し、自分の考えを他の人に伝える意欲と能力を持った人の入学を期待します。

## 経済学部はわかり Q & A

**Q** 経済学を学ぶメリットとは？

**A** 日本全体だけでなく、世界の政治と経済の絡み合いをグローバルでマクロ的な視点から理解することに役立ちます。さらには、個人の拠つて立つ視点が定まり、社会と個人が進むべき道を追究する有力な知識と知見がきつと得られるでしょう。

**Q** 社会に開かれた学問、学部としてどのようなことを行っていますか？

**A** 経済学部では、活動的で多様な潜在的な能力を持った学生を広く求めたいと考えています。そのために、10年以上も前から学部・大学院への社会人入学、3つく入試を行っています。また一般公開講座や教員・学生の国際交流、多くの留学生の受け入れなども率先して行っています。官界、財界への働きかけも進めつつあります。

**Q** 卒業後はどのような分野で活躍できるのですか？

**A** 経済学部の卒業生は、金融関係、IT関連企業から公務員に至るまで様々な分野で活躍しています。卒業生に共通していることは、経済のグローバル化など日本経済がおかれている状況を念頭に置きつつ進路を決定する方、経済学部で学んだ理論等が実際の現場でどのように活かされるのかを仕事を通じて実感したいと考えていることです。



## 授業科目・講座一覧

## 経済学部 主要専門授業科目

## 経済学部

1 演習科目による  
少人数教育を重視

大学における勉強では、自分自身で問題設定をし、論理的分析を行い、そこで導かれた結論を報告し、論文の形で示す能力を養成することが最も重要であると考えられています。そのため経済学部では、演習科目とよばれる少人数ゼミナール形式の授業に力を入れています。演習科目は入学時の基礎演習Ⅰから卒業指導を行う専門演習まで、きめ細かく提供されています。

【演習科目】少人数ゼミナール形式の科目。基礎演習Ⅰ／基礎演習Ⅱ・修了小論文(1年次) 文献講読・小論文指導(2年次) 専門演習(3・4年次) Ⅱ部は4・5年次)

2 入門科目から  
専門講義科目まで  
段階的に学ぶ

経済学部の講義科目では、経済学のイロハを学ぶ入学時の入門科目から、基礎科目Ⅰ、基礎科目Ⅱ、応用科目へと、専門性を段階的に高くして学んでいきます。このように段階的に学ぶことで、経済学の専門的知識や分析のツールが無理なく習得できるように配慮されています。

【入門科目】経済学のイロハを学ぶ(1年次)、日本経済入門／国際経済入門／経済史入門／国民経

済計算入門

【基礎科目Ⅰ】経済理論の基礎を学ぶ(1・2年次)。近代経済学 マクロ1、2、3 / 近代経済学 ミクロ1、2、3 / 政治経済学1、2、3 / 経済統計概論 / 経済数学

【基礎科目Ⅱと応用科目】専門的知識を深める。

【基礎科目Ⅱ】2年次以降 経済学説史 / 近代経済学説史 / 社会思想史 / 統計解析論 / 日本経済史 / 西洋経済史 / 経済政策論 / 財政学 / 金融経済論 / 社会政策論 / 産業経済論 / 国際貿易論

【応用科目】3年次以降 経済原論IA / 経済原論IIA / 経済原論IB / 経済原論IIB / 経済学方法論 / 経済変動論 / 社会経済論 / 数理経済論 / 計量経済学 / 経済統計論 / 経済情報論 / 計算機経済学 / コンピューター講座 / 国際経済論 / 国際通貨論 / 現代資本主義論 / アジア経済史 / 戦後日本経済史 / 日本経済論 / アジア経済論 / 中国経済論 / 比較経済論 / 経済開発論 / 公共経済学 / 地方財政論 / 物価論 / 経済地理学 / 交通経済論 / 都市経済論 / 労働経済論 / 農業経済論 / 産業技術論 / 寡占経済論 / 外書講読 英語 / ドイツ語 / フランス語 / ロシア語 / 中国語

3 六部門からなる  
多種多様な  
専門講義科目

とくに興味・関心のある分野を集中的に学ぶ際の指針を示す目的で、講義科目の中でも専門



性の高い科目である基礎科目Ⅱや応用科目は、経済理論部門、経済統計論部門、経済史部門、経済構造論部門、経済政策部門、国際経済論部門の6部門に分類されています。

【経済理論部門】経済学の理論を究める。経済原論Ⅰ / 経済原論Ⅱ / 経済学方法論 / 経済変動論 / 経済学説史 / 近代経済学説史 / 社会思想史 / 社会経済論 / 数理経済学

【経済統計論部門】統計分析、計量経済学、情報処理関係を学ぶ。統計解析論 / 計量経済学 / 経済統計論 / 経済情報論 / 計算機経済学

【経済史部門】経済現象を長期的視野で考える。日本経済史 / 西洋経済史 / アジア経済史 / 企業経済史

【経済構造論部門】経済学の中で最も応用的な科目。農業経済論 / 産業技術論 / 交通経済論 / 経済地理学 / 寡占経済論

【経済政策論部門】財政・金融・社会政策について専門的に学ぶ。社会政策論 / 公共経済学 / 財政学 / 地方財政論 / 金融経済論 / 物価論 / 経済論 / 日本経済論

【国際経済論部門】グローバル化がすすむ現代経済を、全球的視野でとらえる。国際経済論 / 国際通貨論 / 経済開発論 / 比較経済論 / 中国経済論 / アジア経済論